

Superb FORCE

内圧コントロールバルブ シュパーブ・フォース 取付ガイド スバル水平対向エンジン用

この度はNAG SED 内圧コントロールバルブ (シュパーブ・フォース) をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの一般的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車種、年式により取付方法がこの説明書と異なる場合があります。
また製品の仕様 (グレード) によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなって下さい。

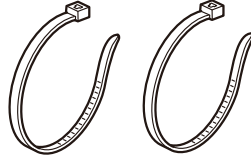
高年式車 (8年以上経過した車両) は、より性能を活かして頂くために、本製品装着と同時にPCVバルブの交換をお勧めいたします。

1 構成内容



シュパーブ・フォースは内部構造のマイナーチェンジをおこない、従来製品に必要なだった負圧系のエマルジョン対策部品が不要となりました。
シュパーブ・フォース本体をブリーザーホースに取付けるだけで装着は完了します。

2 お客様でご準備いただくもの



固定用タイラップ 2本

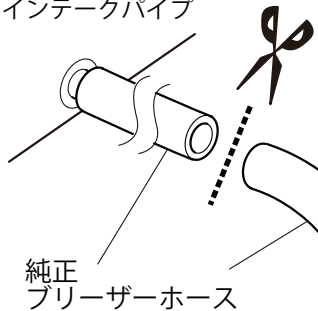
シュパーブ・フォースの固定はタイラップ等でおこなってください。
金属バンド等で過度の締付をおこなうと動作不良の一因となる恐れがあります。

3 シュパーブ・フォースの取付

取付方向 厳守!

純正ブリーザーホースをカットします。

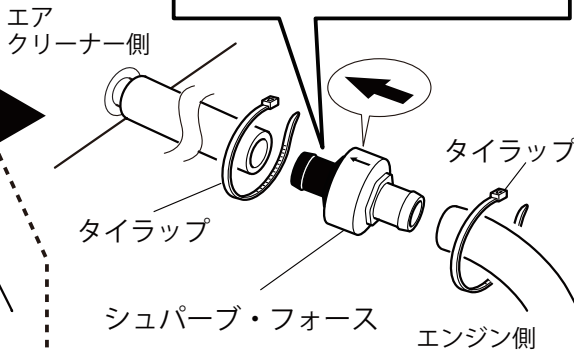
エアクリーナー又はインタークパイプ



純正ブリーザーホース

カットしたブリーザーホースの間に、シュパーブ・フォースを装着します。

エアクリーナー側が黒色



エアクリーナー側

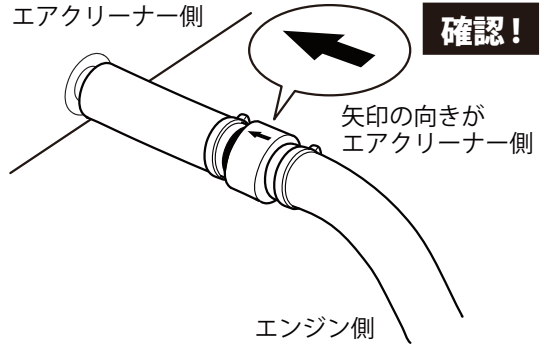
タイラップ

シュパーブ・フォース

エンジン側

4 取付完了イメージ

エアクリーナー側



確認!

矢印の向きがエアクリーナー側

エンジン側

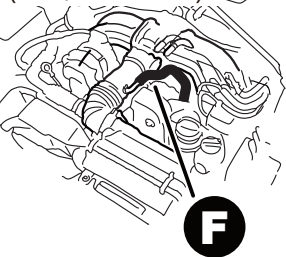
以上で取り付けは終了です。
再度取付方向、部品の固定を確認してください。
ご不明の点はお問合せください。

シュパーブ・フォース / エンジン別 取付位置 (一例)

F = シュパーブ・フォース取付位置

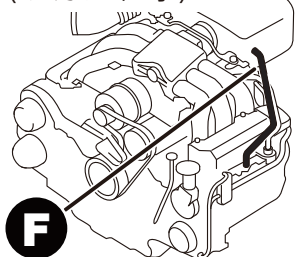
一部の車種、年式を例にとつてのシュパーブ・フォースの取付説明をおこなっていますので、車種、年式により作業箇所や形状がこの説明書と異なる場合があります。

FB20 型エンジン (BRZ / TOYOTA 86)



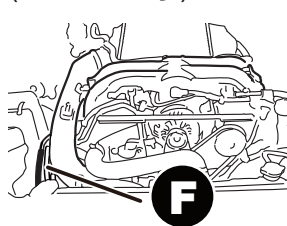
F

H6 EZ30 型エンジン (レガシィ等)



F

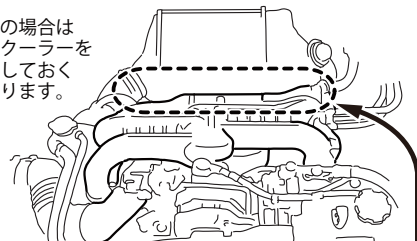
EJ25 型エンジン (AVCS ターボ) (レガシィ等)



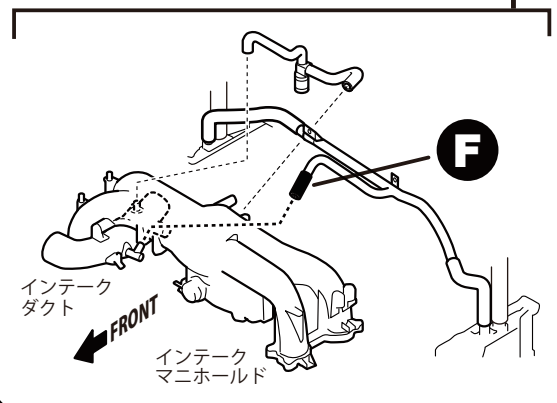
F

EJ20 型エンジン (レガシィ・インプレッサ等)

ターボ車の場合はインタークーラーを事前に外しておく必要があります。



EJ20 エンジンにはブリーザーホースが2か所あります。取付位置にご注意ください。



インタークダクト

インテークマニホールド

定期清掃

本品はエマルジョンの処理は出来ませんが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1〜2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお奨め致します。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。汚れがひどく除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。ご不明の点はお問い合わせください。